

滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部 第35回本部員会議 次第

日 時：令和3年4月2日(金)
11時10分～11時40分
場 所：危機管理センター
災害対策本部室

あいさつ

議 題

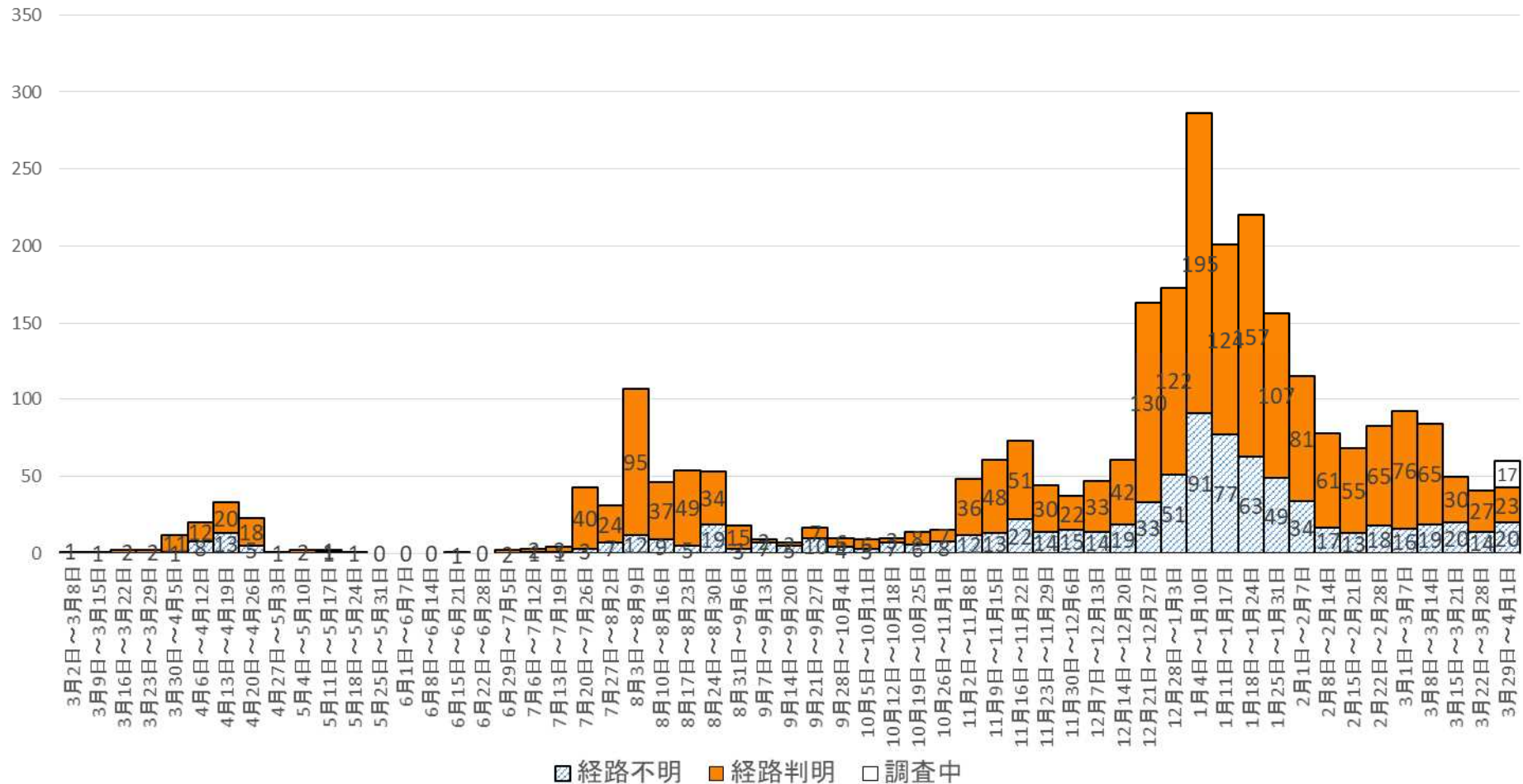
- (1) 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について
- (2) 「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づく対応について
- (3) その他

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

県内の感染動向について(4/1現在)

1)①流行曲線(公表日別)

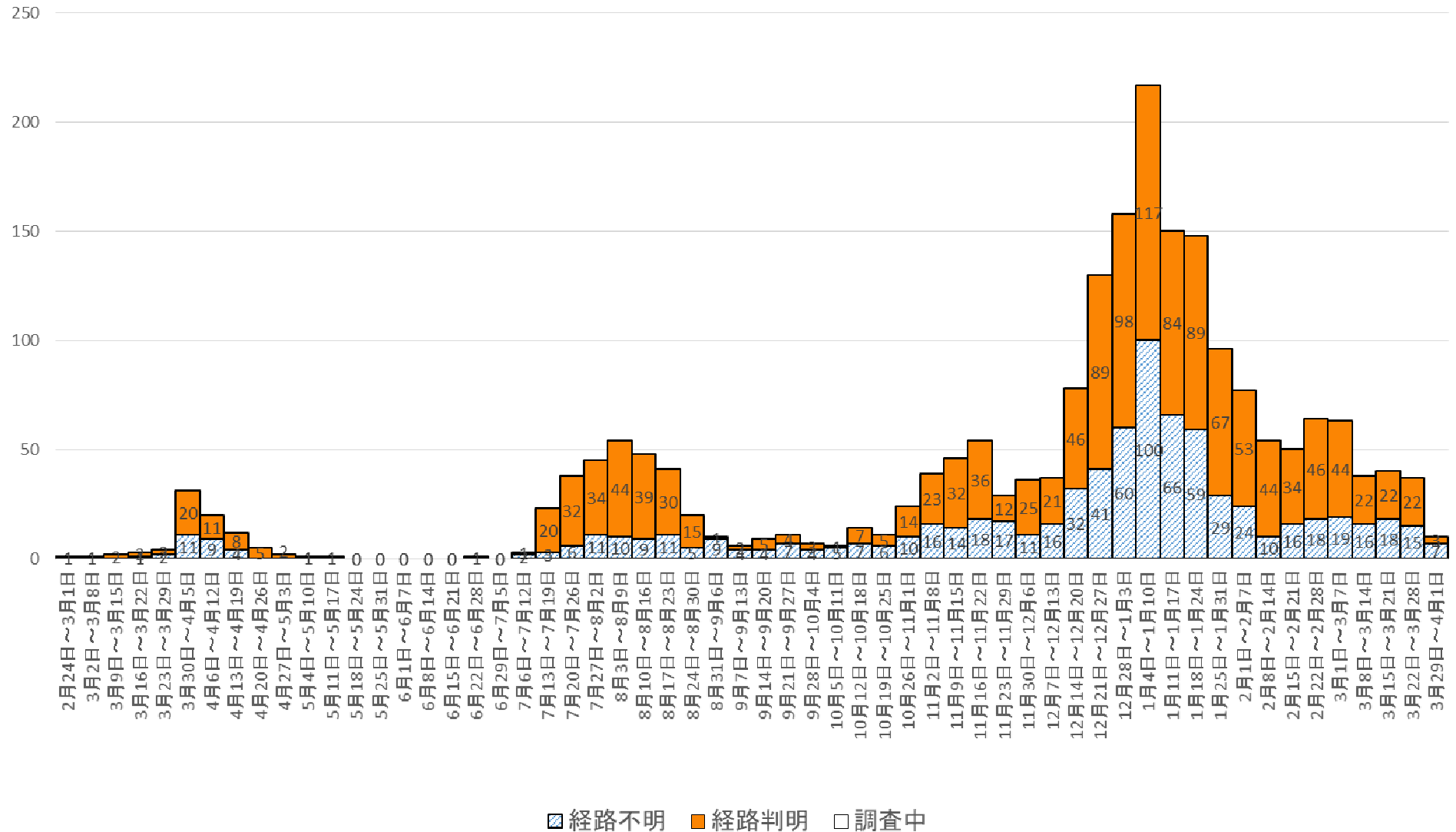
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
4/1 19:00時点(週ベース)



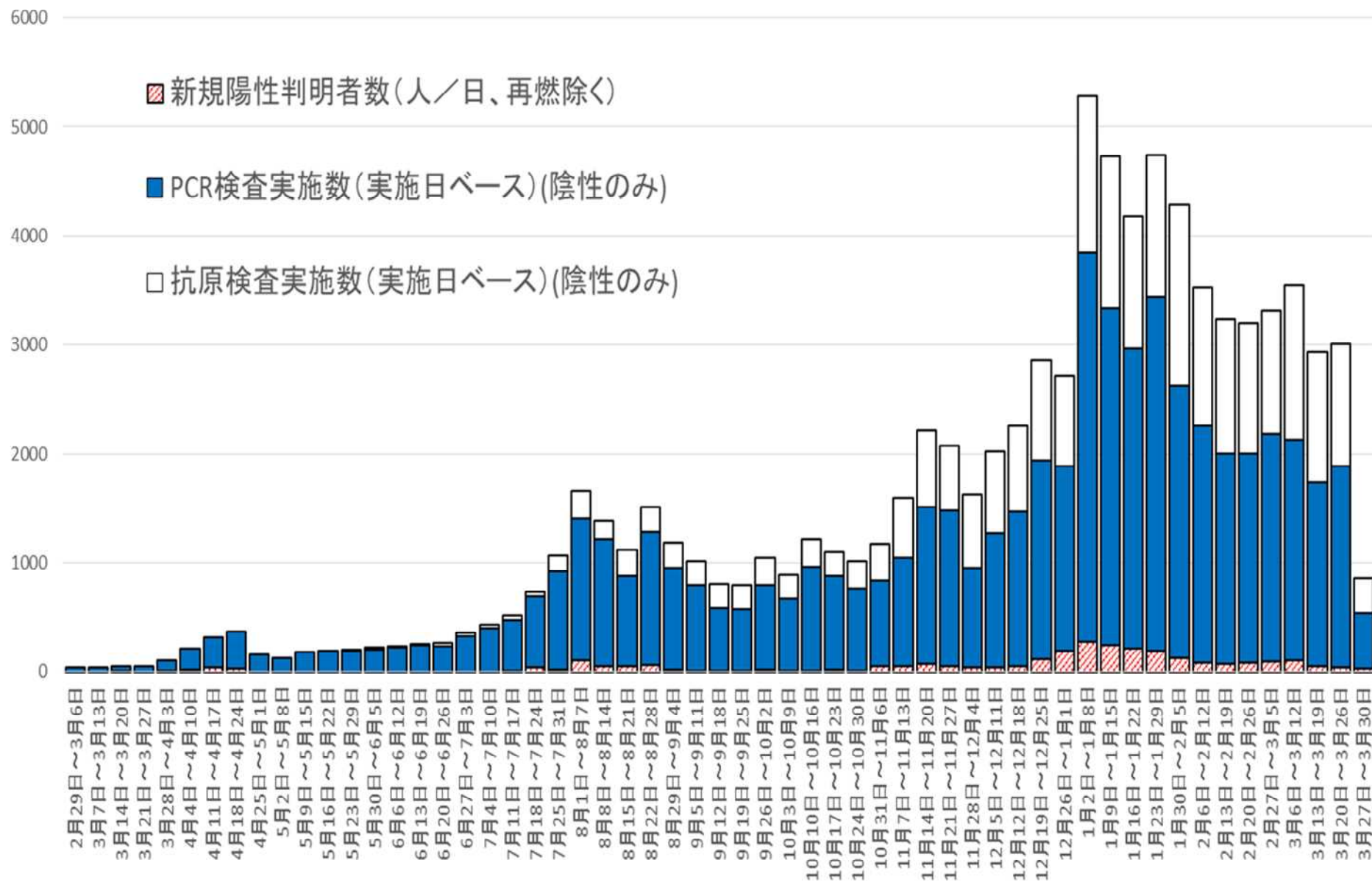
流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(4月1日現在)

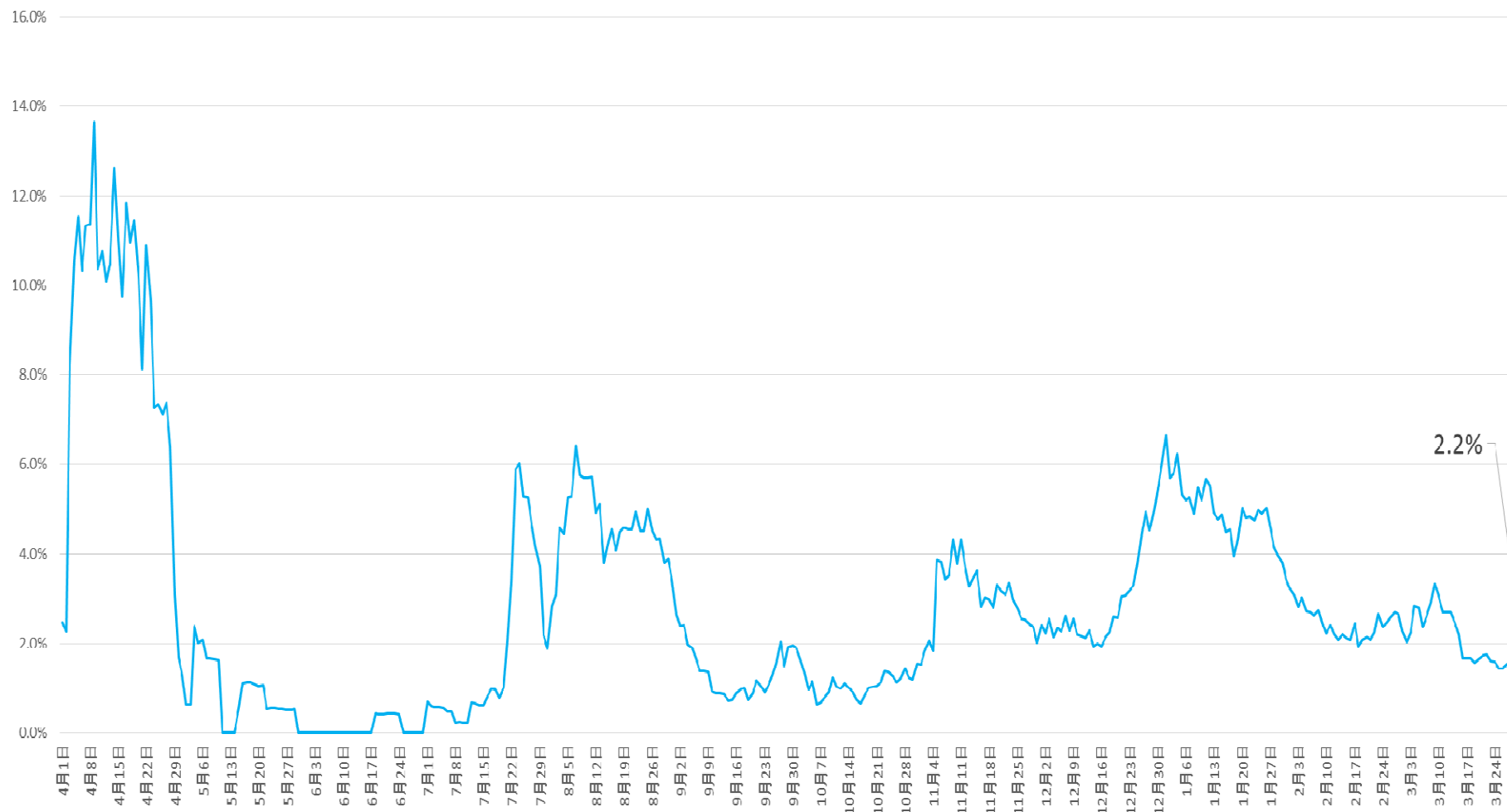
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)4/1 19:00現在(週ベース)



2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



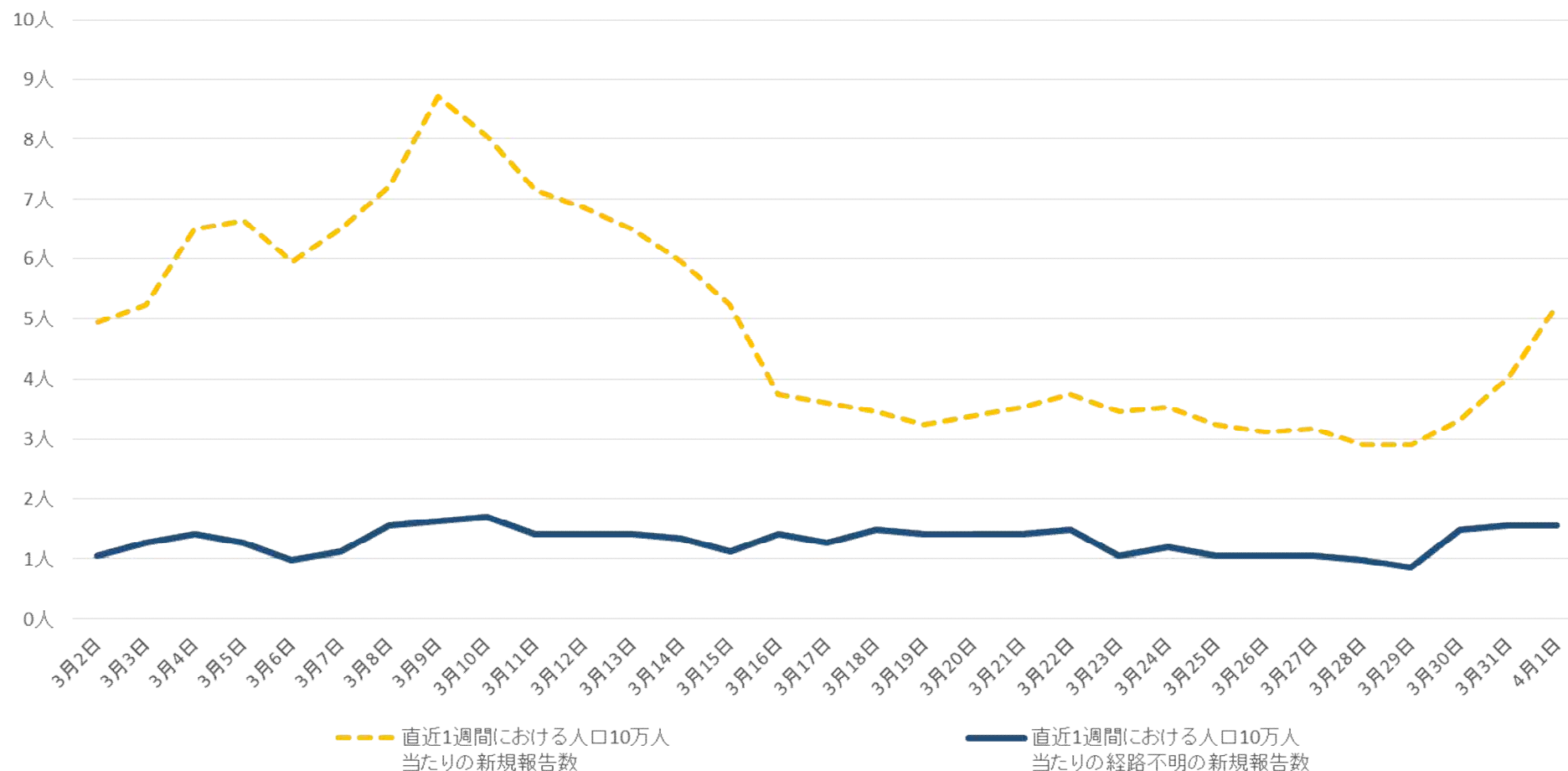
3)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、3月30日現在の陽性率は2.2%でした。

4) 経路不明の新規報告者数の推移

経路不明の新規報告者数の推移



- 直近1週間における人口10万人当たりの経路不明の新規報告数に大きな変化は認められない。

5) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数				
		入院者数			空床数		療養者数			空数
			県内発生	その他				県内発生	その他	
総数	322	79	67	12	243	350	31	31	0	319

6) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数							入院 予定等	宿泊 療養	退院等	死亡	
			入院中			入院 予定等	宿泊 療養	退院等					死亡
			重症	中等症	軽症								
PCR検査数 (うち行政検査分 (うちその他検査分	60,932 19,642 41,290)	2,794	116	69	4	15	50	15 (うち自宅療養 4)	32	2,662	56		
抗原検査数	25,962												

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

7) その他県内の感染状況

①病床のひっ迫具合	最大確保病床の占有率※1	22.5%	③直近1週間のPCR等陽性率※4	2.2%
	現時点の確保病床数の占有率※2	24.5%	④直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	5.2人
	うち重症者用病床の最大確保病床の占有率※3	12.0%	⑤直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※5	多い
	うち重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率	12.2%	⑥直近1週間における感染経路不明割合	29.7%
②人口10万人当たりの全療養者数		8.8人		

※1 最大確保病床の数(351床)に対する割合

※2 確保済みの病床等の数に対する割合

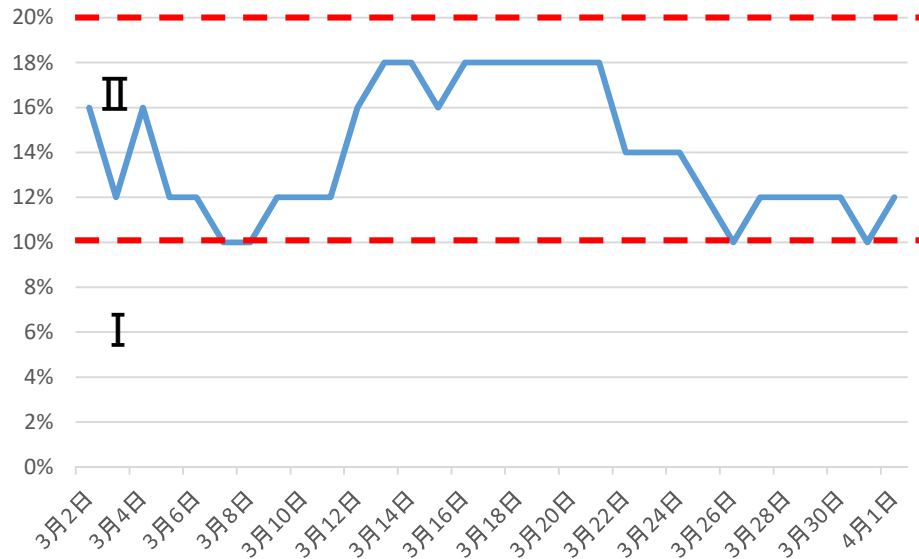
※3 最大確保病床の数(50床)に対する割合

※4 検査実施日ごとの件数に基づく陽性率

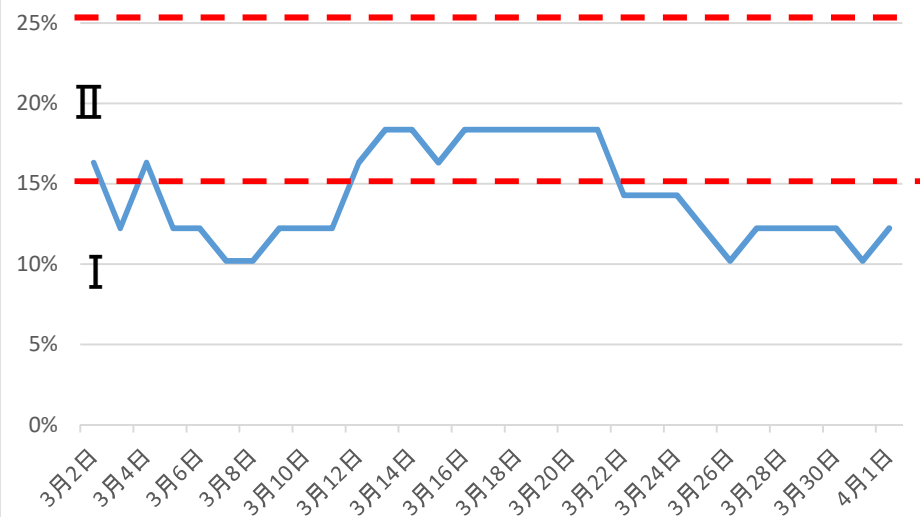
※5 直近一週間の陽性者数が先週と比較して多いか少ないか記載

重症者数	重症者以外のICU(集中治療室)利用者数	重症者用病床の現時点の確保病床数	新規感染経路不明者(直近1週間分)	PCR等検査数(直近1週間分)
4人	2人	49床	22人	2,100件

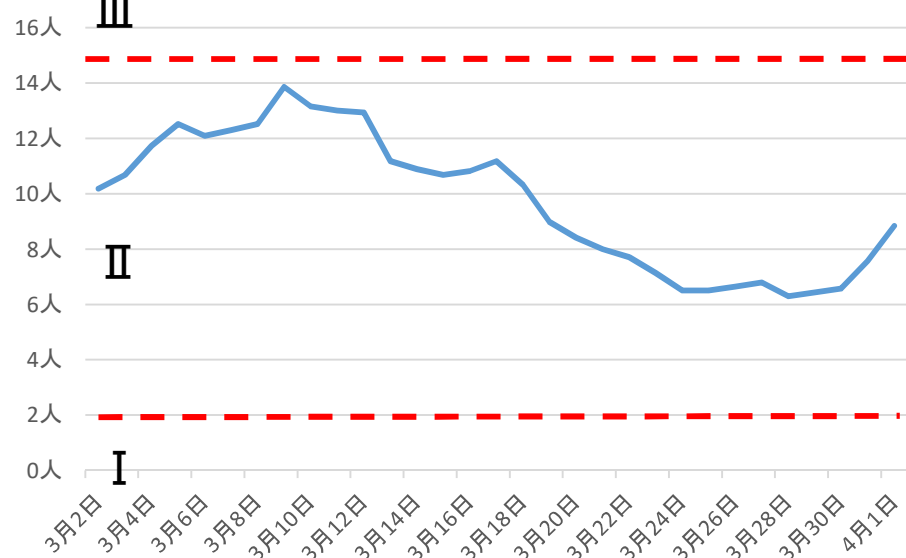
Ⅲ 重症者用病床の最大確保病床の占有率

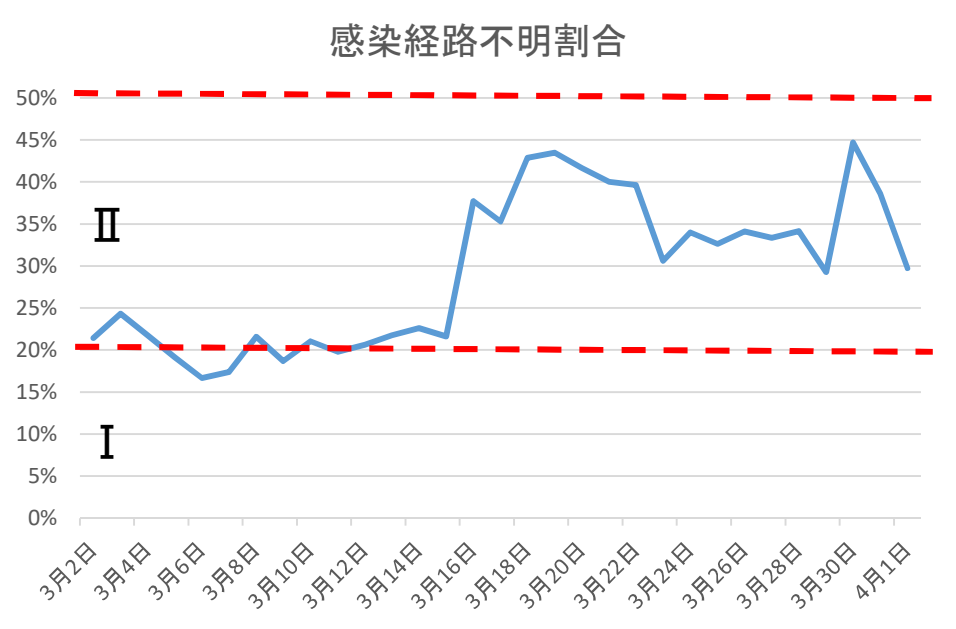
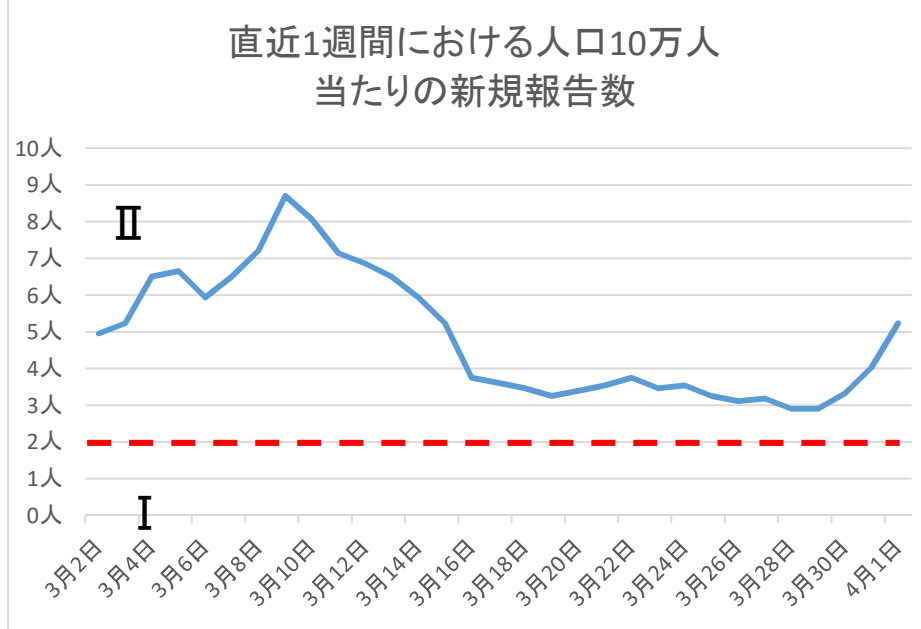
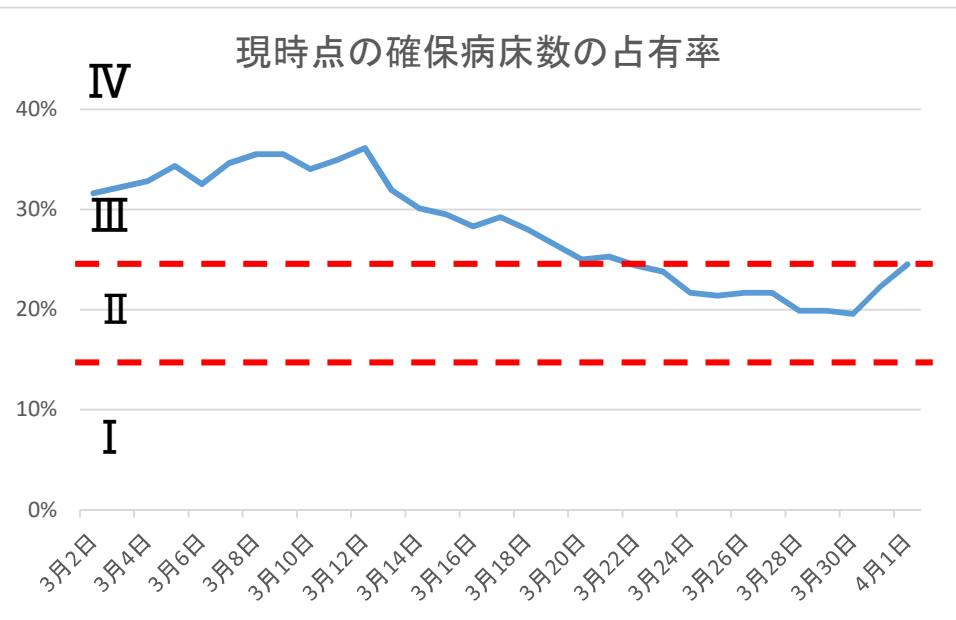
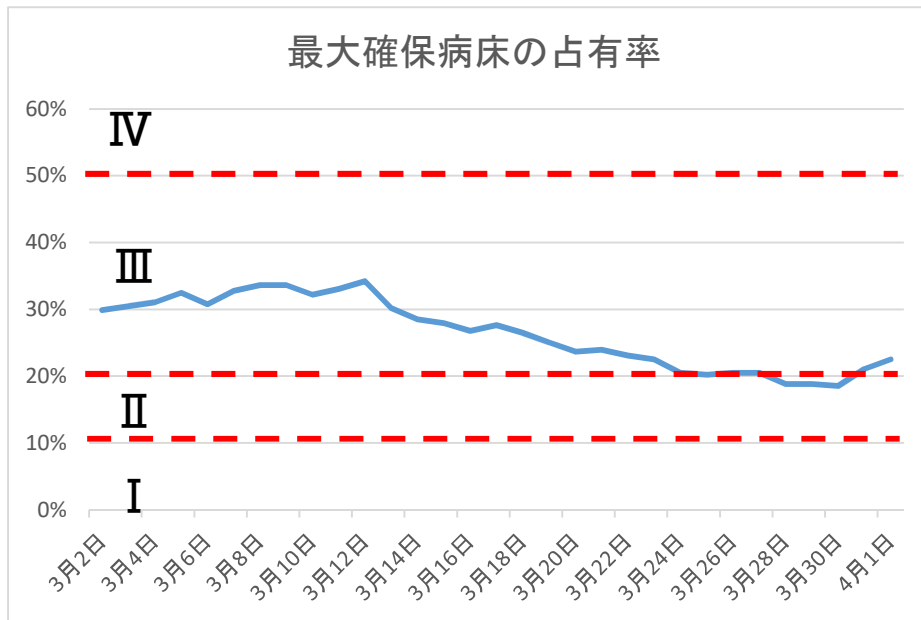


Ⅲ 重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率



Ⅲ 人口10万人当たりの全療養者数

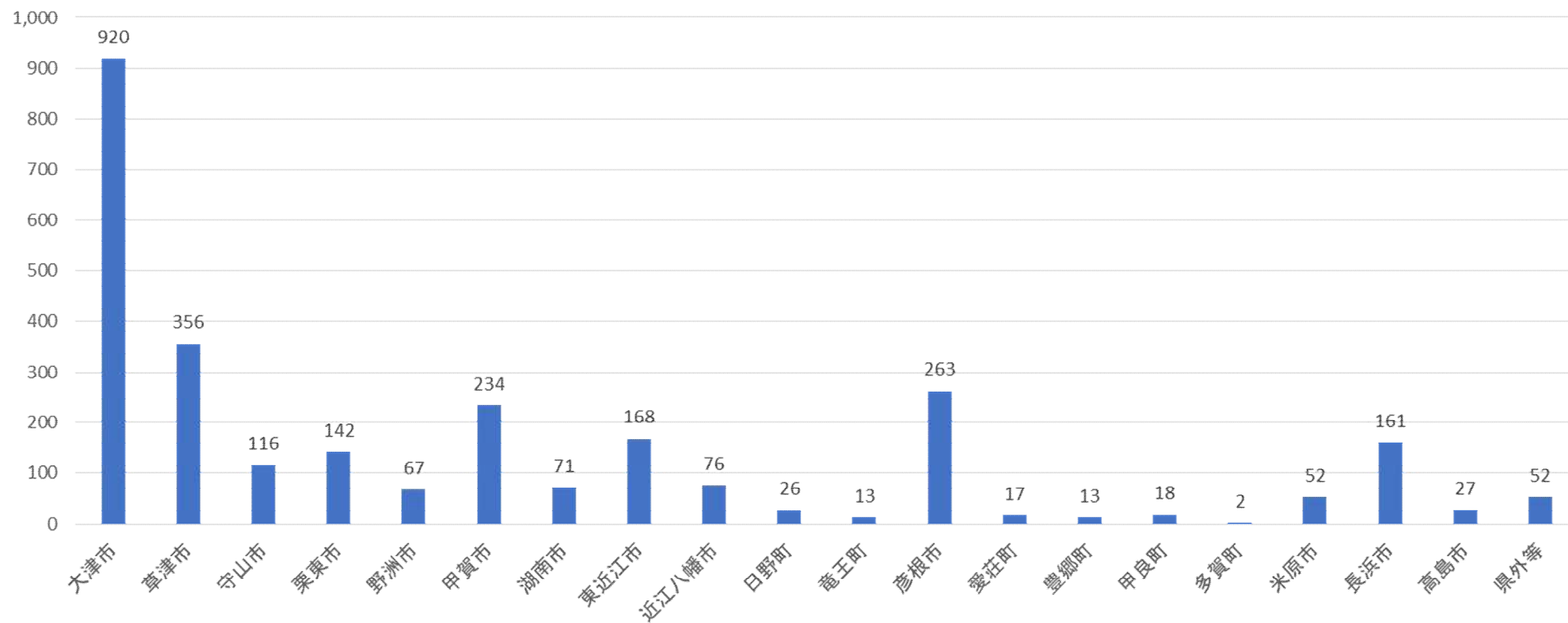




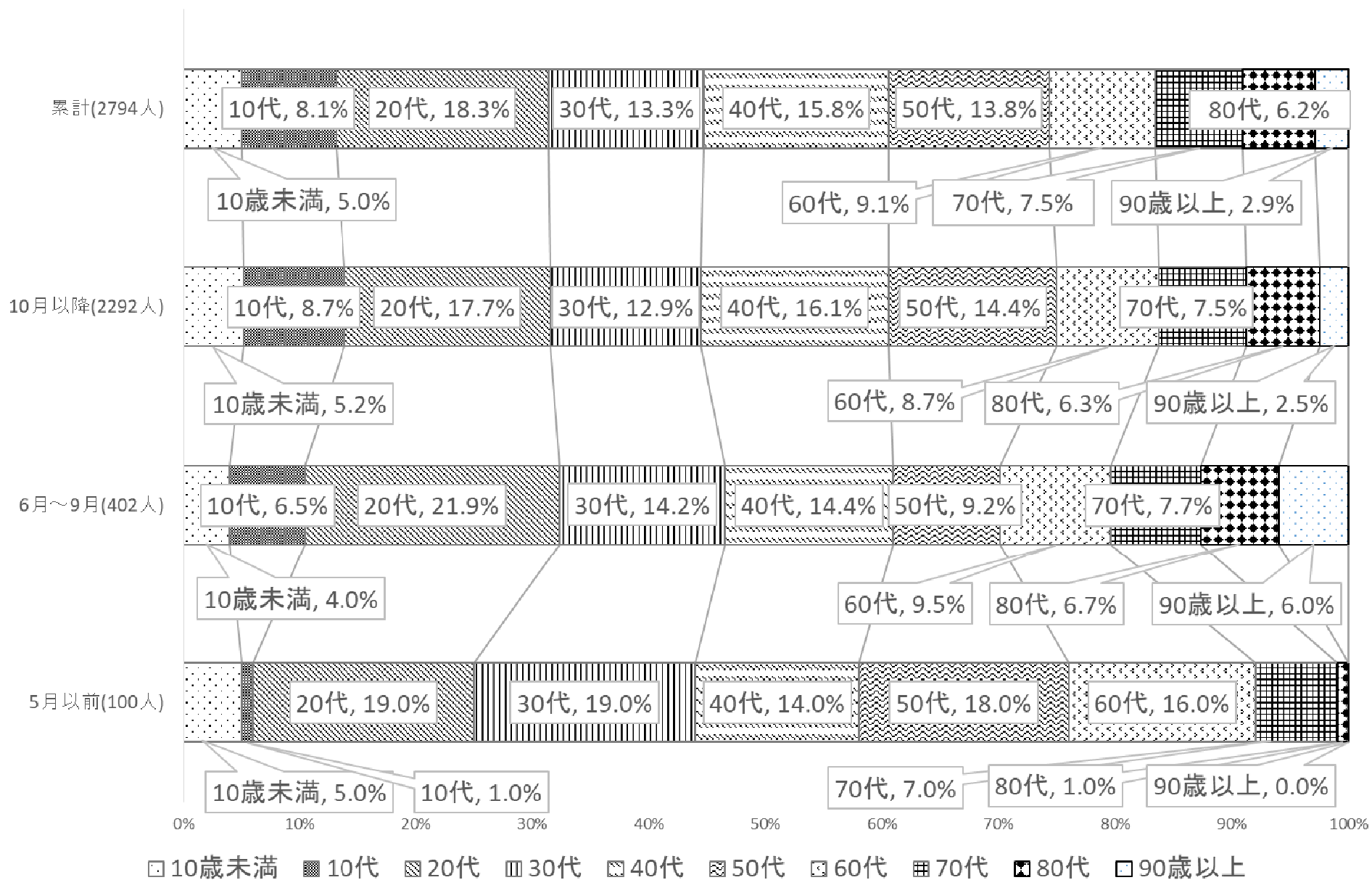
8)性別陽性者数

性別	陽性患者数
男性	1,402
女性	1,252
非公表(10歳未満)	140
計	2,794

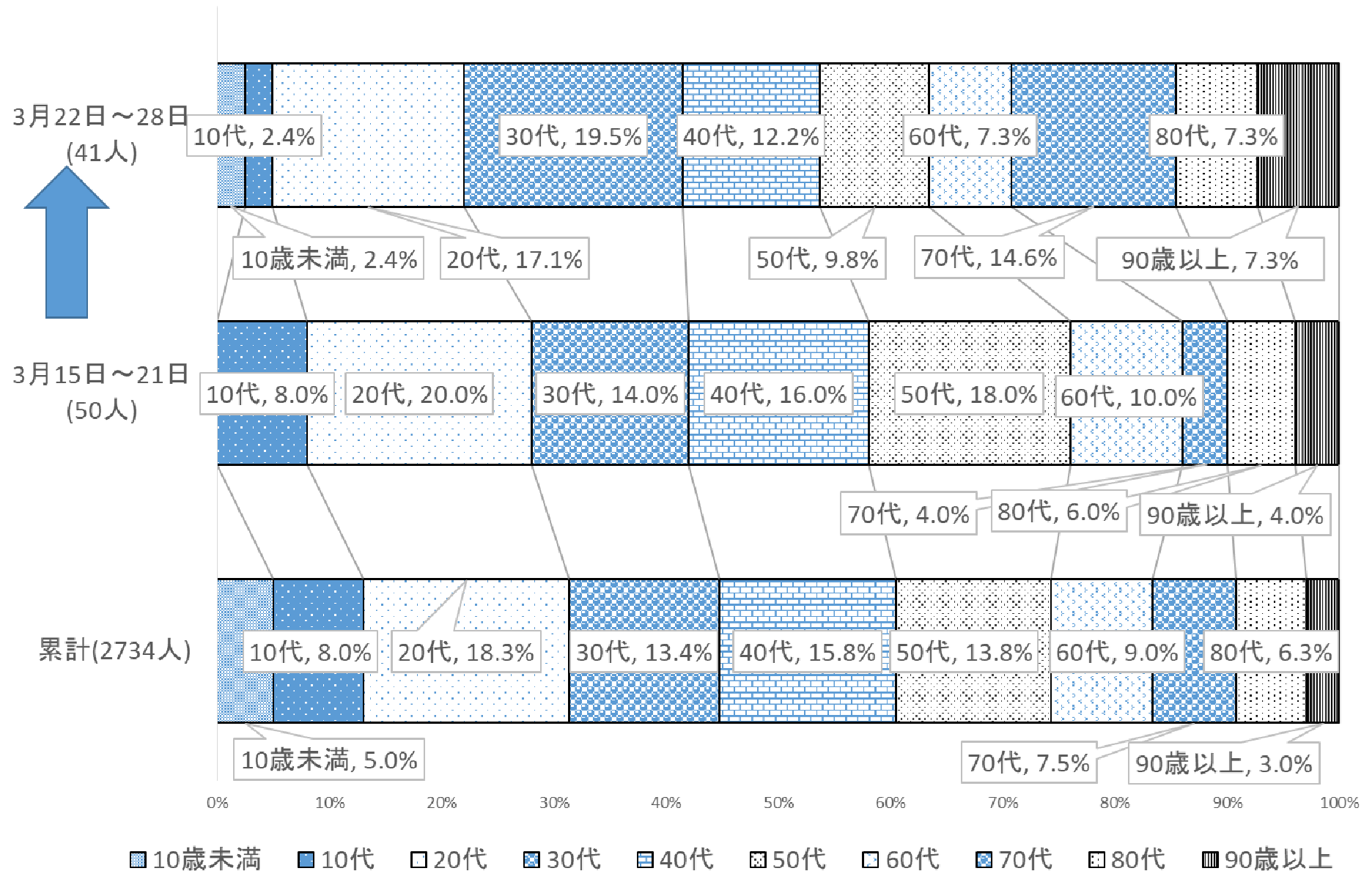
9)市町別陽性者数



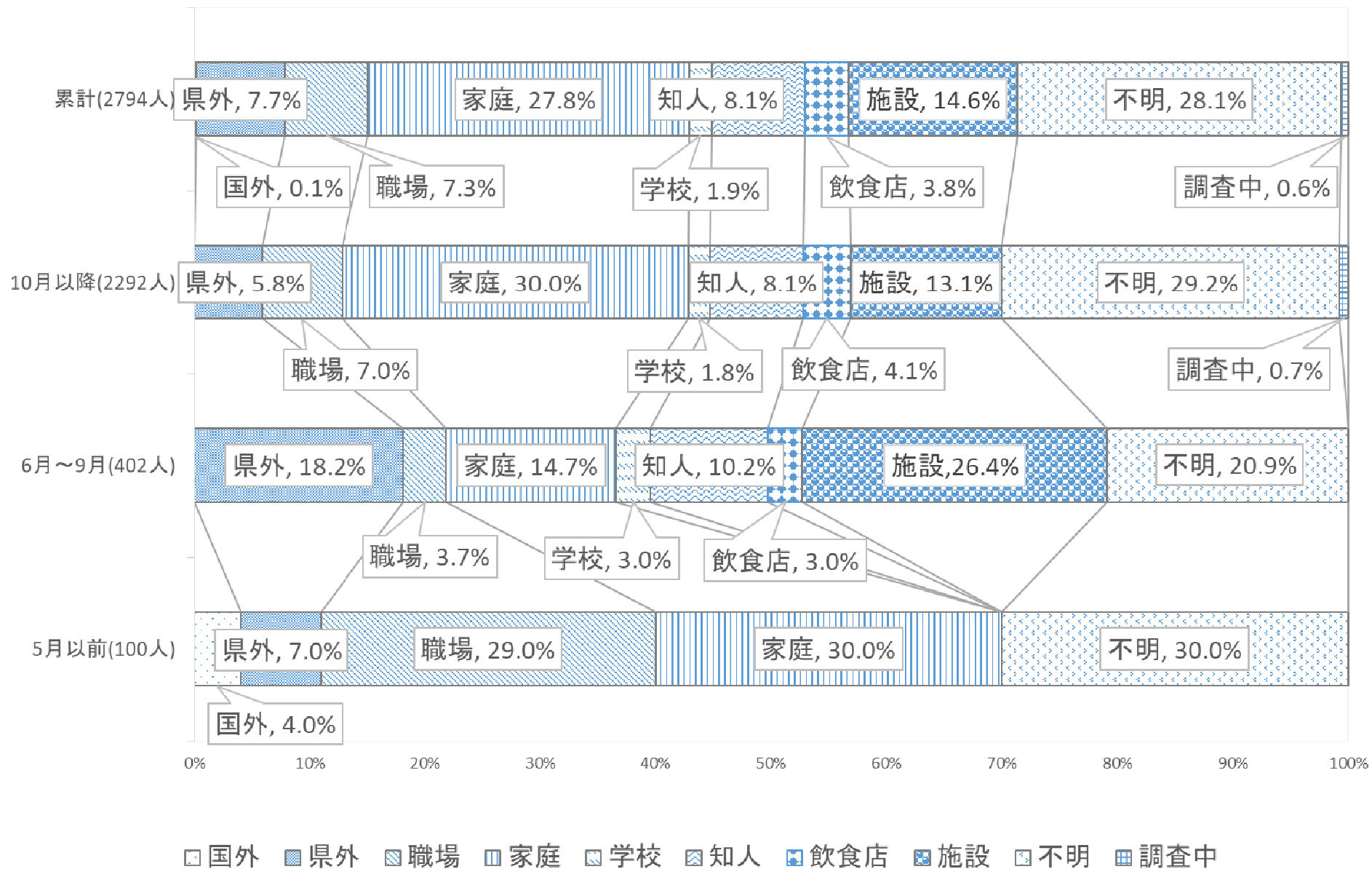
10)①年代別



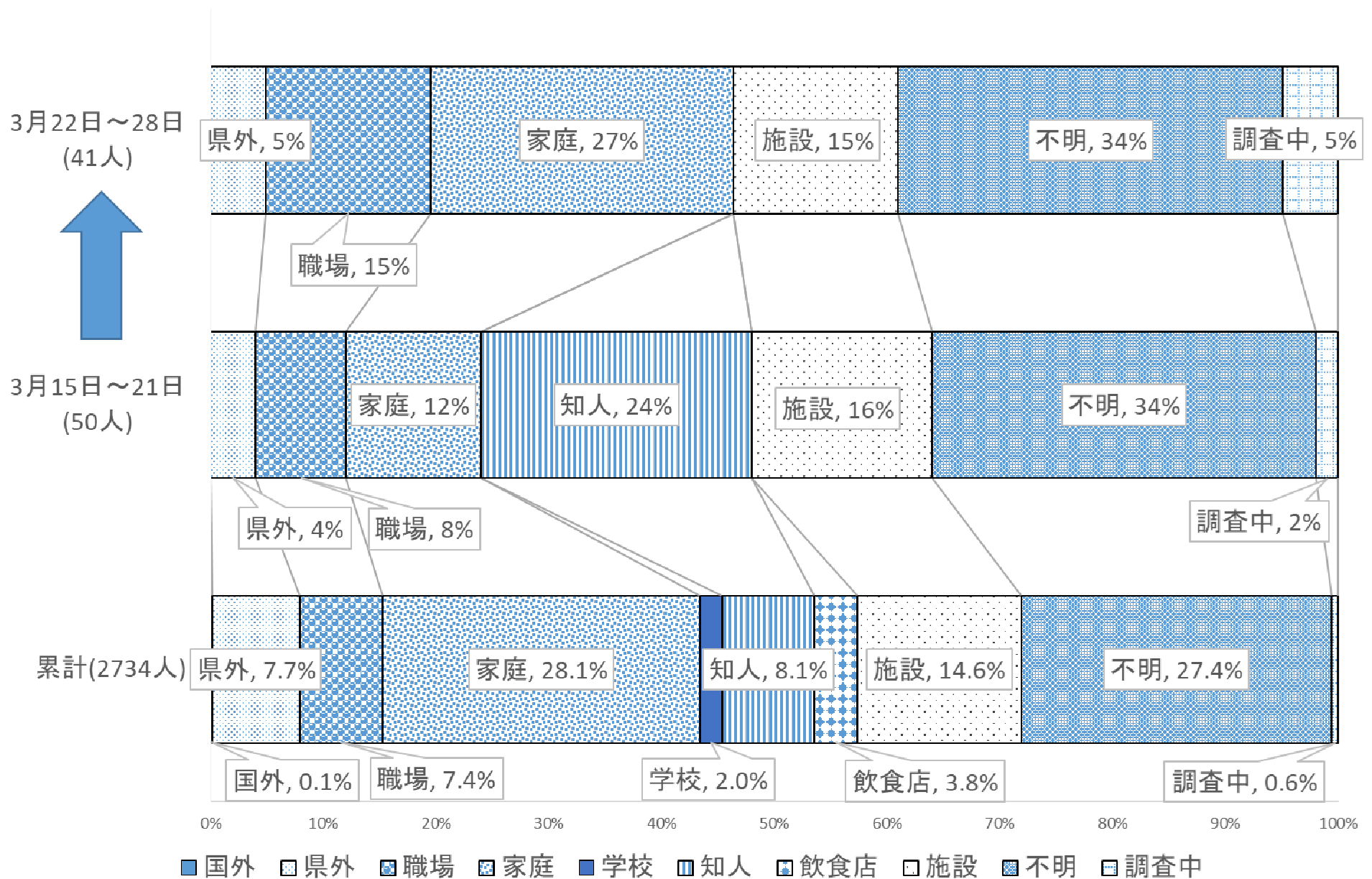
②年代別(週別)(3月28日現在)



11)①感染経路別



②感染経路別(週別)(3月28日現在)

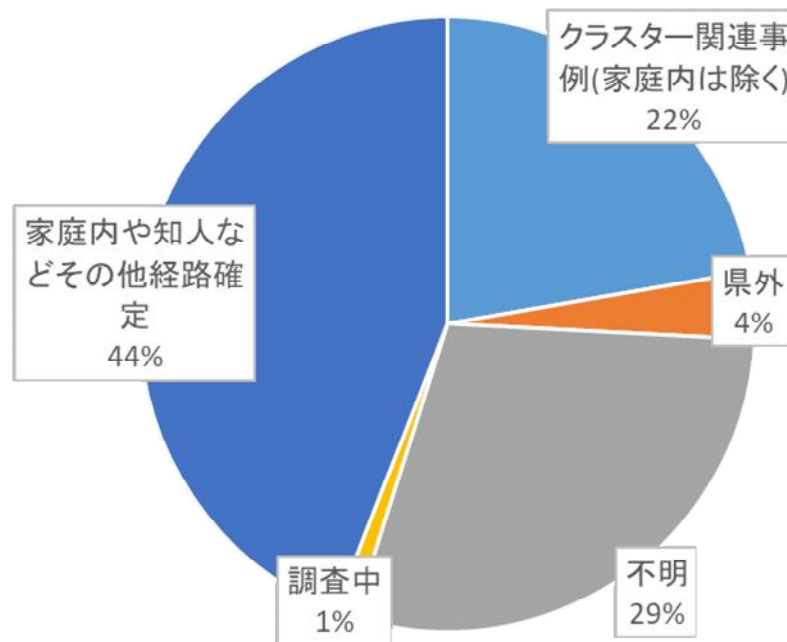


12)1月以降に発生したクラスターの状況

クラスター名	陽性者数(※)	検査件数	初めて感染者が確認された日	関連する感染者が確認された最終日
医療機関⑤	22	92	1月2日	1月13日
介護関連事業所⑤	31	112	12月31日	1月6日
介護関連事業所⑥	8	19	1月5日	1月9日
介護関連事業所⑦	7	59	1月4日	1月9日
事業所④	8	19	1月14日	1月16日
介護関連事業所⑧	5	62	1月1日	1月20日
会食③	7	14	1月17日	1月21日
飲食店③	24	132	1月20日	1月30日
事業所⑤	4	12	1月23日	1月23日
介護関連事業所⑨	17	153	1月22日	2月7日
会食④	8	55	1月24日	1月27日
医療機関⑥	5	134	1月23日	1月29日
医療機関⑦	23	390	1月29日	2月13日
医療機関⑧	7	220	2月1日	2月5日
会食⑤	7	19	1月30日	2月3日
障害福祉関連事業所①	5	6	2月12日	2月13日
介護関連事業所⑩	7	60	1月25日	2月12日
事業所⑥	6	40	2月12日	2月17日
医療機関⑨	5	150	2月13日	2月20日
飲食店④	22	50	2月15日	2月28日
医療機関⑩	40	234	2月19日	3月11日
事業所⑦	6	40	2月25日	2月27日
保育関連施設③	18	187	3月2日	3月6日
飲食店⑤	19	30	3月3日	3月9日
学校④	18	調査中	3月4日	調査中
飲食店⑥	9	15	3月3日	3月9日
介護関連事業所⑪	9	調査中	3月19日	調査中
介護関連事業所⑫	6	調査中	3月19日	調査中
保育関連施設④	7	調査中	4月1日	調査中

※県内において確認された陽性者数

1月以降の感染者(計1,619件)に占めるクラスター等の割合

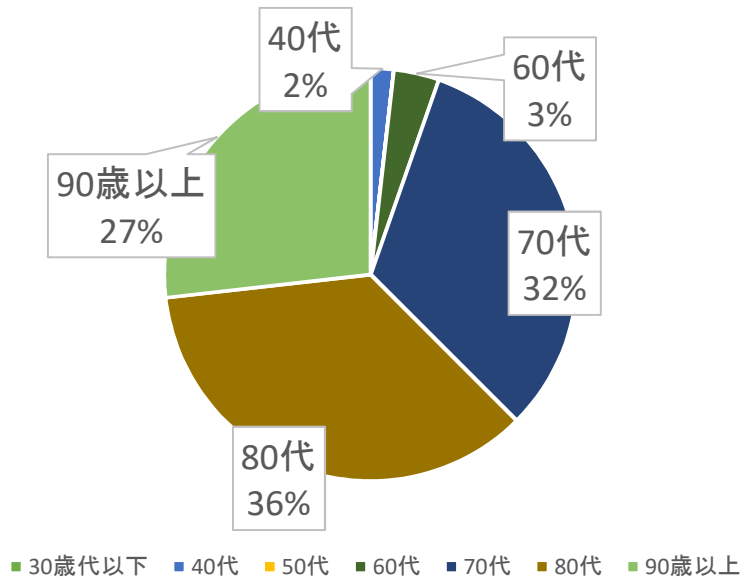


県内における1月以降のクラスター関連の陽性者は合計360名※で、1月以降の全陽性数の22%を占めています。

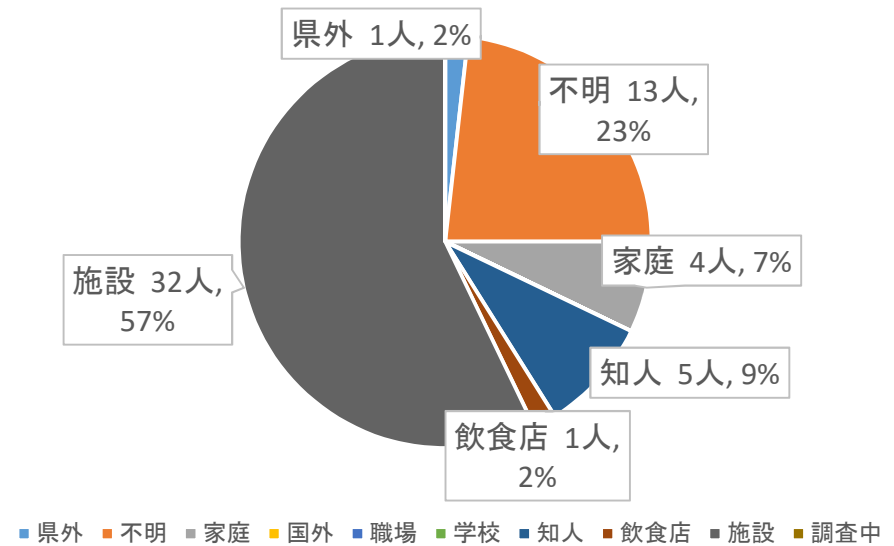
※1月以前のクラスター関連で1月に陽性が確認された者を含みます。

13)死亡事例(計56件)の状況

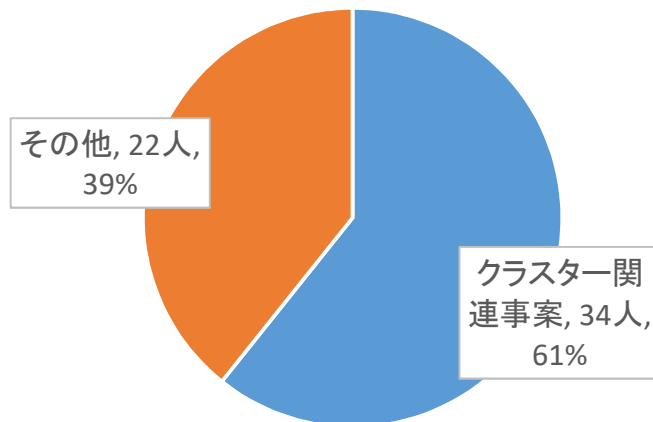
①死亡者の年代別割合



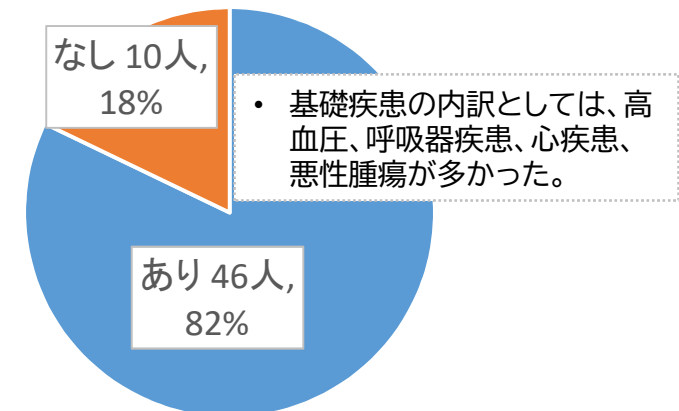
②死亡者の感染経路別割合



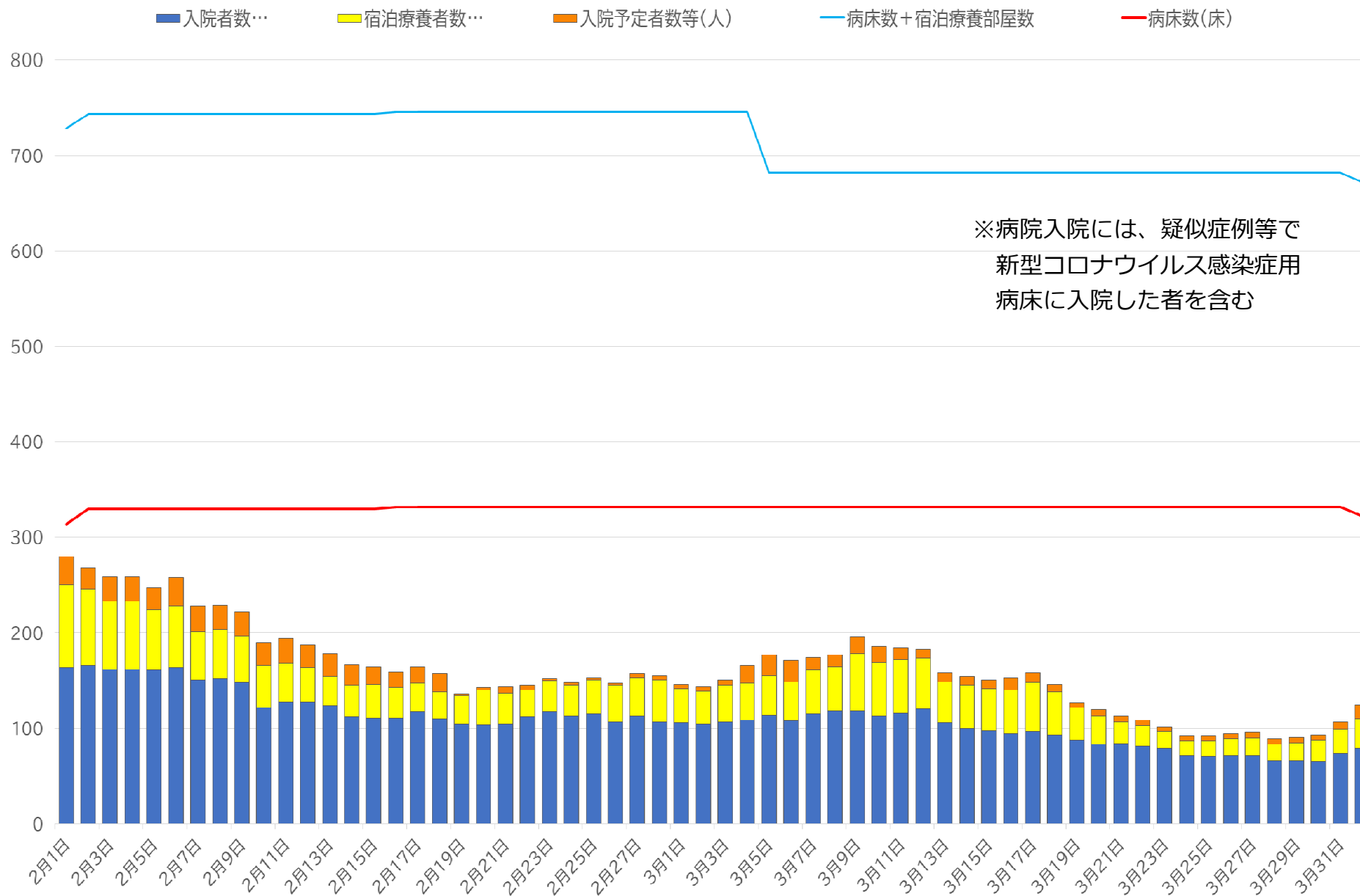
③クラスター事例に関連する死亡者の割合



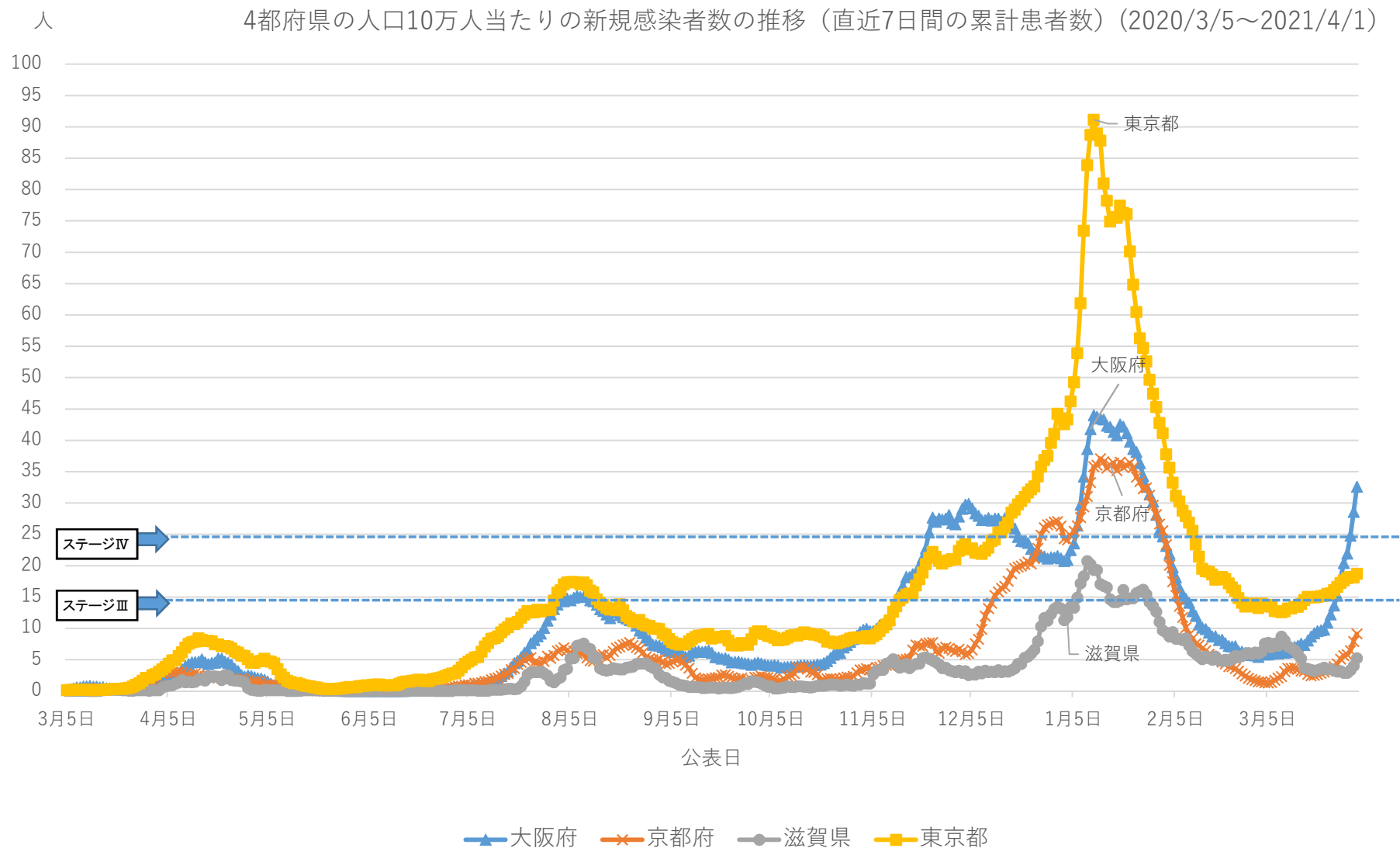
④死亡者の基礎疾患の保有状況



入院医療体制について



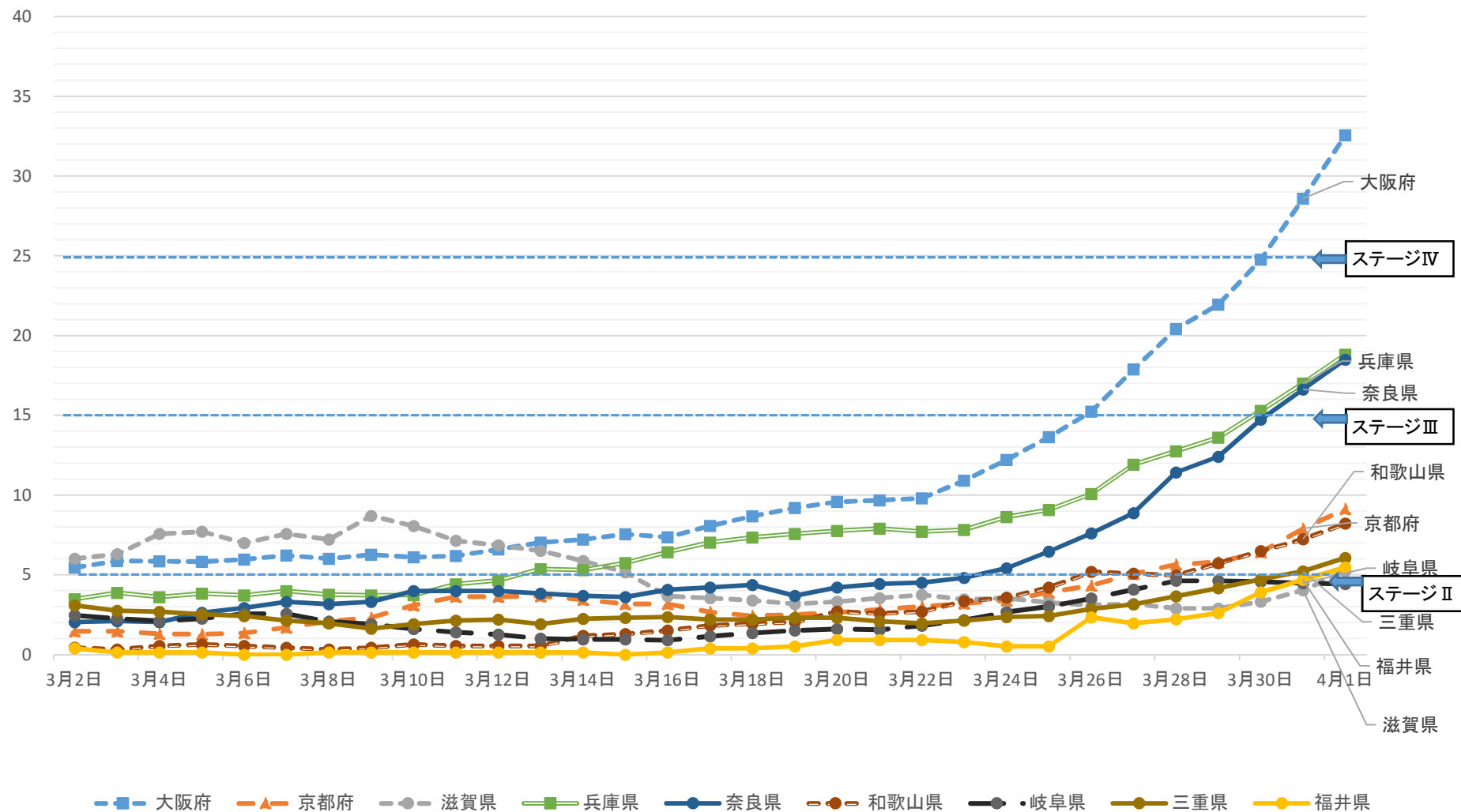
4都府県の発生動向



- 人口10万人当たりの新規感染者数は、滋賀県、京都府においてはステージⅡの水準にあるが、東京都はステージⅢ、大阪府はステージⅣの水準にある。
- 滋賀県、京都府も増加の兆しが見える。

近隣府県の発生動向

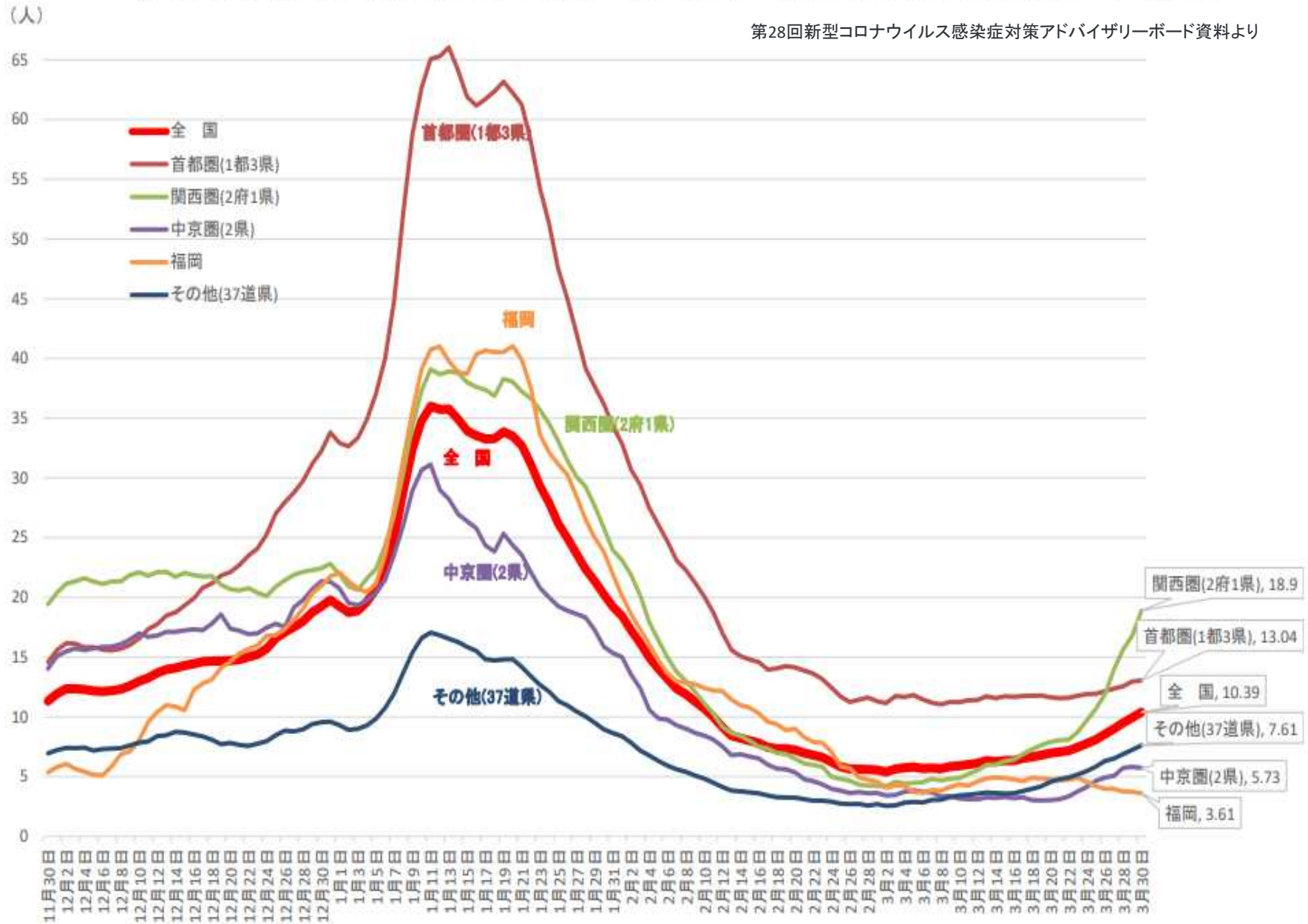
近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(3/1-4/1)



- 近畿の府県全てで上昇を認める。

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [圏域ごと]（対人口10万人） 2020/11/30～2021/3/30

第28回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料より

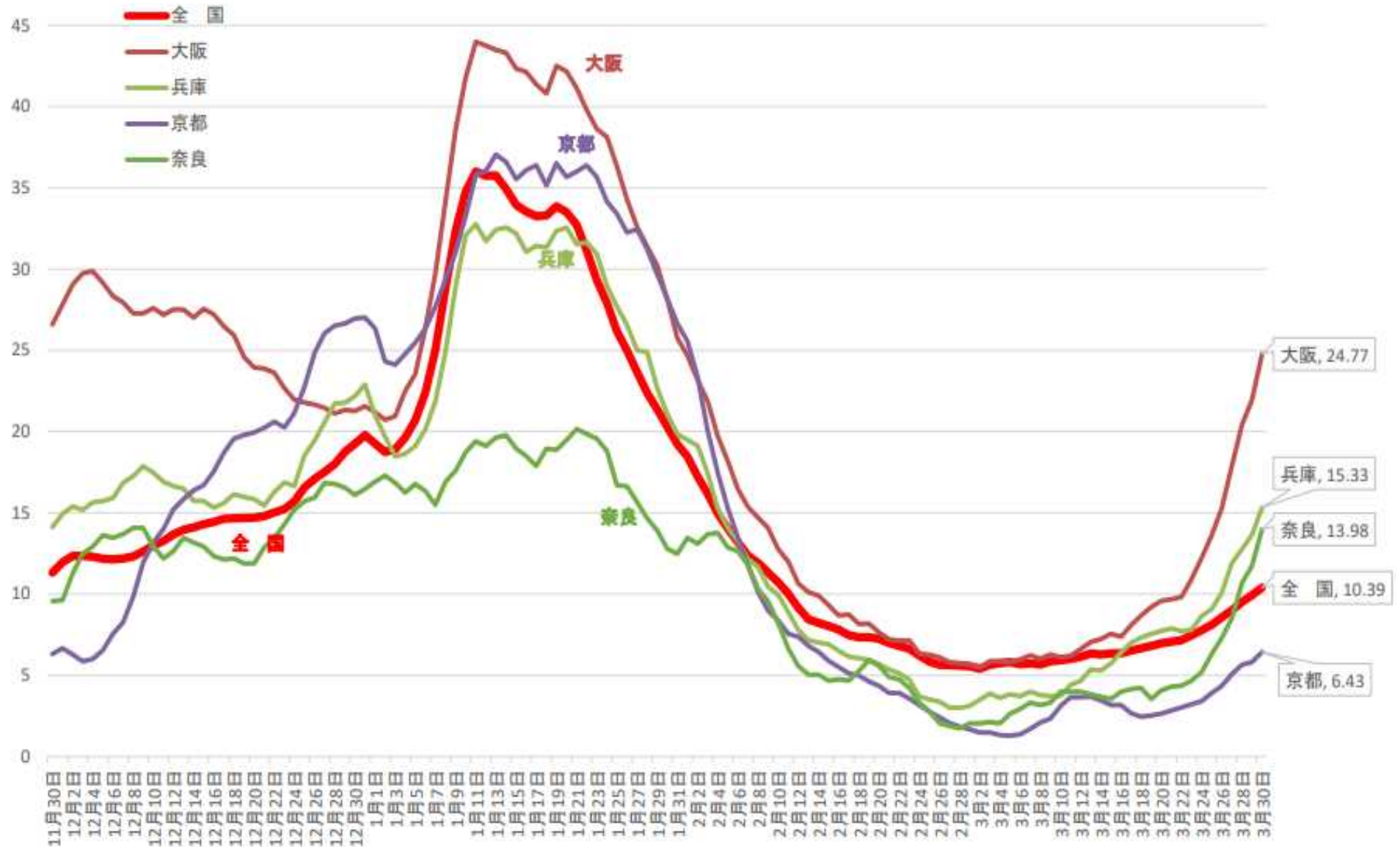


※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口(総務省)により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [近畿]（対人口10万人） 2020/11/30～2021/3/30

(人)

第28回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料より



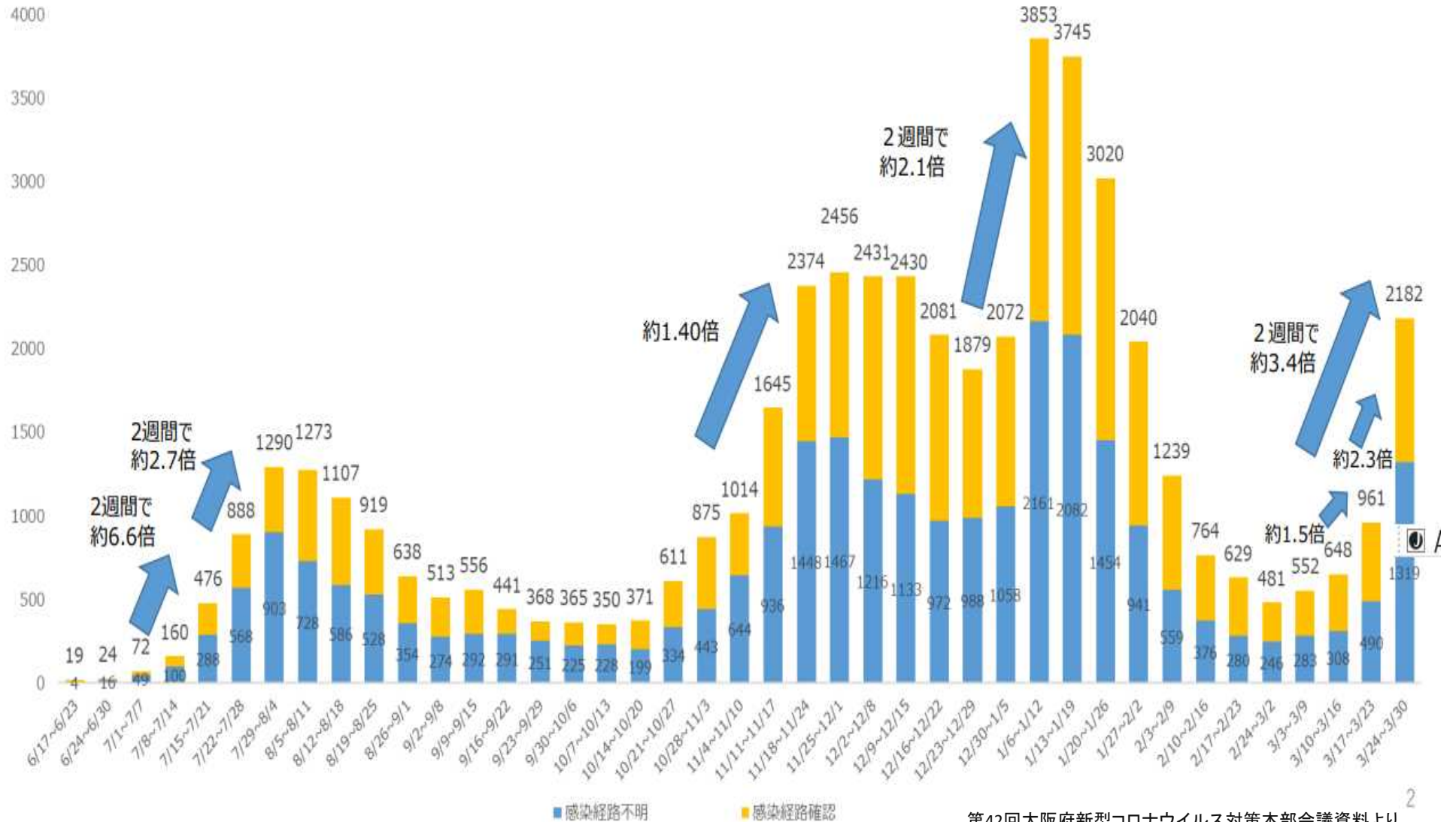
※人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口(総務省)により算出している

7日間毎の新規陽性者数

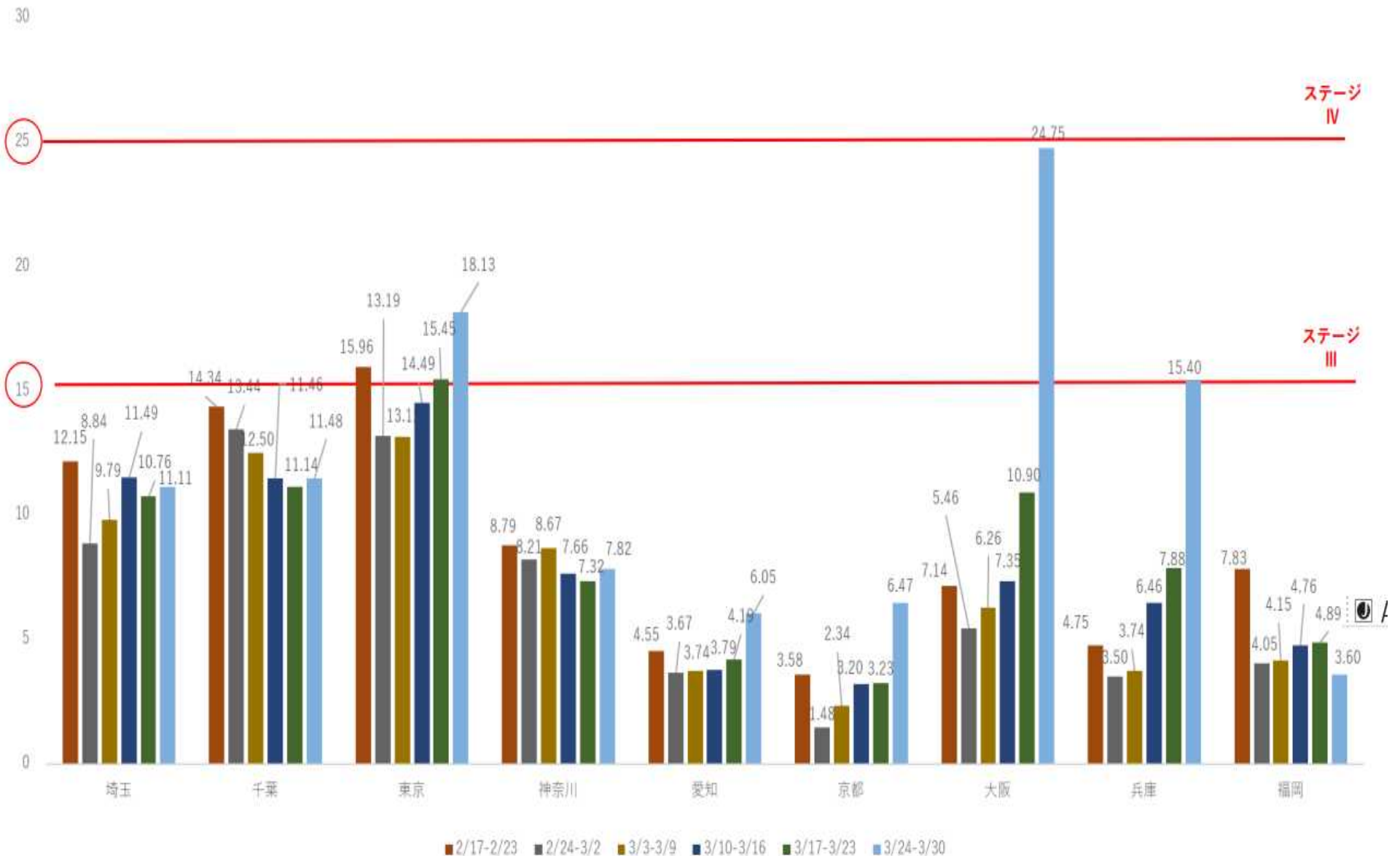
(大阪府)

第4波は、直近2週間で約3.4倍増加し、第三波を大きく上回る速度で感染が急拡大している。
 (直近1週間の新規陽性者数一日平均約312名)

3月1日以降を「第4波」と総称して分析



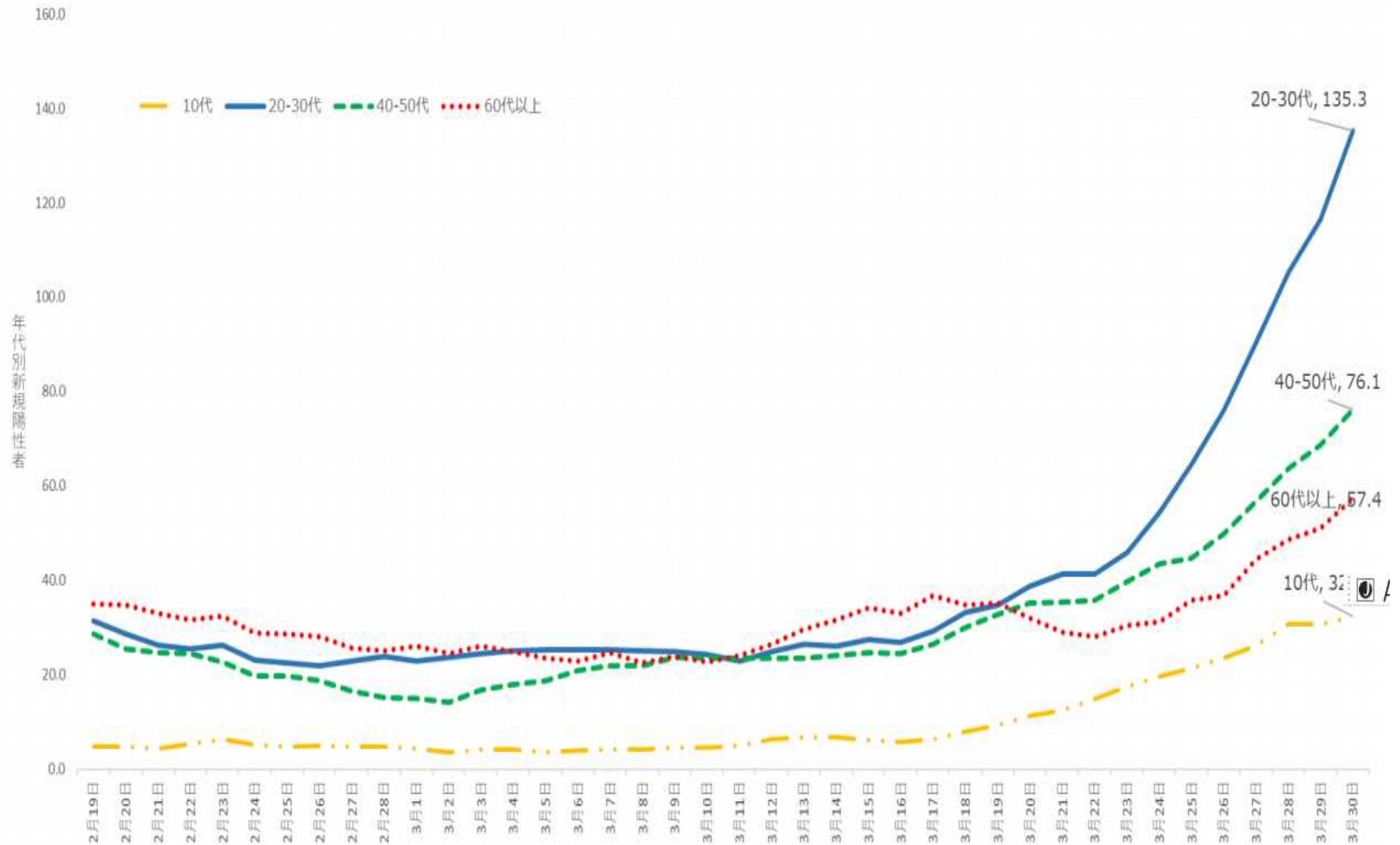
週・人口10万人あたり新規陽性者数(緊急事態措置解除区域) (大阪府)



年代別新規陽性者数(7日間移動平均)の推移(日別)

(大阪府)

20・30代新規陽性者数が急増し、60代以上も3月23日以降拡大に転じている。



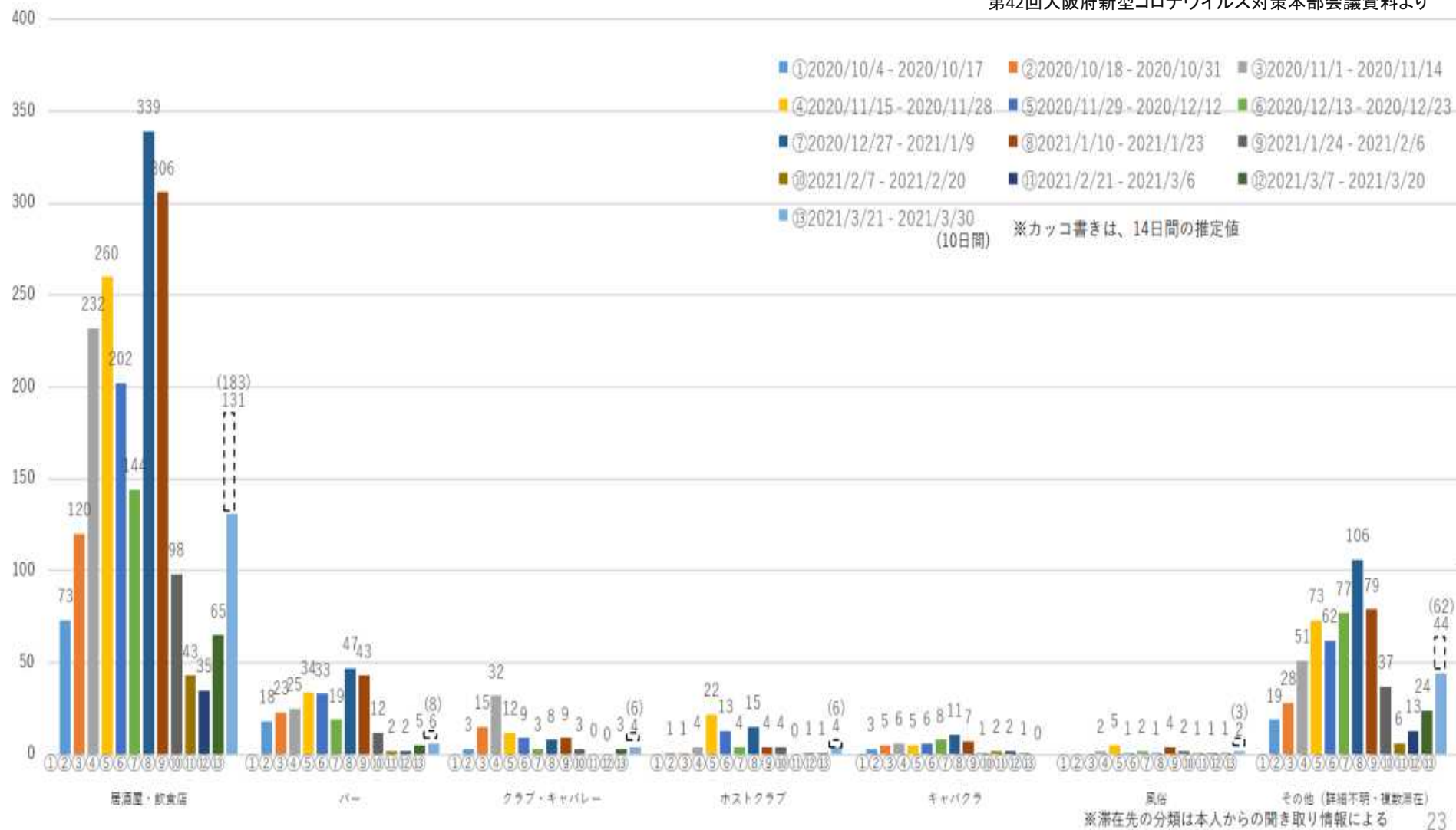
夜の街の滞在分類別の状況

(大阪府)

居酒屋・飲食店は、3月より増加に転じている

(10月4日以降3月30日までに判明した3,190事例の状況)

第42回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議資料より



※滞在先の分類は本人からの聞き取り情報による 23

大阪府の感染状況に関する評価

1. 第3波を大きく上回るスピードで感染が急拡大し、今後も急激に感染拡大していく可能性が高まっている。
2. 市内はステージⅣの基準を、市外もステージⅢの基準を超えており、市内外ともに市中感染が広がっている。
3. 10代から30代の若者が急増している。
4. 新規感染者に占める夜の街の関係者および滞在者も増加し、特に居酒屋や飲食店に関係する患者が増加している。
5. 旅行参加者や送別会・卒業式等に参加した患者が多数発生している。

アドバイザーボードによる評価

1. 特に大阪府では人流の増加に伴い20－30代の感染者が増加している。月中旬以降増加傾向が強まっており、感染拡大が強く懸念される。
2. 関西圏では変異株の報告が増加しており、今後も感染拡大が予想される。
3. 引き続き、昼カラオケ、接客を伴う物販など高齢者が集まる場面や日中を含めた長時間の会食には注意喚起が必要である。
4. 3密など人が集まる機会を避け、年度初めの恒例行事(歓送迎会、お花見)などに伴う宴会(特に普段会わない方との宴会等)は避けていただくなど危機感を共有できるメッセージ配信が重要である。

評価

- 全国および近畿府県の新規感染者数は報告日ベースで増加傾向であり、特に大阪府、兵庫県、奈良県で急増している。京都府および和歌山県でも増加傾向にある。
- 本県も、多くの指標がステージⅡの水準で推移しているが、日毎の新規患者数（公表日ベース）は3月30日は3月18日以来10人を超過し、4月1日は3月9日以来20人を超過した。
- 全国全ての地域で緊急事態宣言が解除されたが、他府県の動向から本県においても今後増加するおそれもあるため再度の感染拡大を防止するためには、三密の回避および基本的な対策の継続が必要である。特に、近畿の府県では急速な新規患者の拡大を認めるため、本県においても対策の強化が必要である。
- 強化すべき対策
 1. まん延防止等重点措置実施地域等の感染拡大地域への不要不急の往来を極力控える。
 2. 会食する際も会話時はマスク着用し、マスクを外すときは会話を控える。
 3. 特に、歓送迎会・お花見などに伴う会食、感染拡大地域での会食および家族や普段一緒にいる人以外との会食においては、マスク会食を実施する。

彦根市袋町における一斉検査の結果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3月に発生した彦根市袋町の飲食店に関する新型コロナウイルス感染症患者の発生の経過と一斉検査等対応状況についてまとめた。

1. 発生の状況

感染者発生の経過

- 感染者発生の状況 患者発生期間：3月14日～3月20日
- ・陽性者は10名（従業員 5名 来店客 5名）、関連する飲食店は4店、その他関連する陽性者（家族等）が9名判明し、彦根市袋町で感染者が複数の店舗から発生する状況となった。
- ・最初に2名の陽性者が判明したことから、関連する飲食店の従業員・来店客27名（従業員が20名、来店客が7名）を濃厚接触者・接触者とし検査を実施。
- ・陽性者から濃厚接触者を特定し、対応はできていたが、関連しない飲食店からの陽性者が判明したため、これ以上の感染拡大の可能性を予測し、一斉検査を検討した。

2. 一斉検査の状況

検査状況

- 一斉検査の実施状況 検査実施期間 3月22日～29日
- ・対象飲食店 94店 ・協力飲食店(※) 76店(80.9%) 受検者 151名 陽性者 0名
- ・検査の結果、陽性者が判明した飲食店(4店)以外の店舗への感染拡大は認められなかった。
- ・保健所は検査の実施時には啓発チラシを配布、検査結果の報告時に口頭で感染予防対策の指導を行った。

※ 協力飲食店 一斉検査に従業員が一名以上受検した飲食店

3.調査の結果

調査結果

- 感染が確認された店舗への調査の結果
 - ・感染防止対策が一部取られてはいたが、業界団体が定めるガイドラインに沿った対策が十分ではなかった。
 - ・来店客に、マスクの着用を求めることはできていなかった。また従業員も来店客からマスクを外すことを求められることがあるなど着用が徹底できていなかった。
 - ・施設の構造上、換気が難しく、空気清浄機等を配置するのに留まっており、換気が不十分だった。

4.今後の課題

感染拡大防止に向けた対応・課題

- 事業者・従業員への指導
 - ・換気やカウンターやテーブルに飛沫防止パネル等の設置、従業員の健康管理をするなどガイドラインに沿った感染対策の徹底。
 - ・従業員に対しての感染予防対策の知識、意識向上等の指導。
 - ・来店者に対する体調不良時は利用を控えること、マスクの着用など理解・協力の求め。
- 利用者への啓発
 - ・感染予防対策が取られている店舗を選んで利用する。
 - ・飲食店において、会話やカラオケを利用するときはマスクを着用する。
 - ・自身の健康管理を行い、有症状の時には飲食店を利用しない。
- 県の対応
 - ・4月2日に防災危機管理局、健康医療福祉部が感染防止対策を専門的見地で確認し、店舗にアドバイスを行う。
 - ・上記に併せ、「もしサポ滋賀」の登録を確認し、読み込みやすい工夫の実践についてアドバイスを行う。
 - ・保健所において一斉検査の必要があると判断した場合に、民間検査機関による唾液でのPCR検査を円滑に行うため、実施時には保健所に人員等の支援を行う。

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づく対応について

(当面5月5日まで)

基本的な感染対策の徹底！

- 手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など
- 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意
- 家庭内・職場での感染対策を徹底

往来について

【県民の皆さまへ】

- 大阪市などまん延防止等重点措置実施区域をはじめとする感染拡大地域への不要不急の往来は極力控えて

会食について

- 会食する際は感染リスクを下げる工夫を！

【特に注意する場面】

- ✓ 歓送迎会・お花見などの会食
- ✓ 感染拡大地域での会食
- ✓ 家族や普段一緒にいる人以外との会食

(参考) 対策の新旧

4月1日まで	4月2日以降
<p>基本的な感染対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none">● 手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など● 家庭内・職場での感染対策を徹底● 感染者が多数確認されている地域などではより注意して行動を	<p>基本的な感染対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none">● 手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など● 感染リスクが高まる「<u>5つの場面</u>」に注意● 家庭内・職場での感染対策を徹底
<p>往来について</p> <p>—</p>	<p>往来について</p> <p>【県民の皆さまへ】</p> <ul style="list-style-type: none">● 大阪市など<u>まん延防止等重点措置実施区域</u>をはじめとする感染拡大地域への<u>不要不急の往来は極力控えて</u>
<p>会食について</p> <ul style="list-style-type: none">● 会食する際は感染リスクを下げる工夫を！● 謝恩会・歓送迎会・お花見などの会食は特に注意を	<p>会食について</p> <ul style="list-style-type: none">● 会食する際は感染リスクを下げる工夫を！● 【特に注意する場面】<ul style="list-style-type: none">✓ 歓送迎会・お花見などの会食✓ 感染拡大地域での会食✓ 家族や普段一緒にいる人以外との会食

新型インフルエンザ等対策特別措置法 第24条第9項に基づく要請について

令和3年(2021年)4月2日
滋賀県新型コロナウイルス
感染症対策本部

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、下記のとおり協力の要請を行う。

記

1 感染対策の徹底

- ・ 基本的な感染対策の徹底(手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など)
- ・ 会食する際は感染リスクを下げる工夫を実践
- ・ 家庭でも、咳エチケット、こまめな換気と加湿、取手・ノブなどの共用部分の消毒を実践
- ・ 家族以外の方と接する場面では、感染リスクが高まる「5つの場面」に注意。特に、グラスや箸の共用を控え、会食時であっても会話の際にはマスクを着用
- ・ 感染者が多数確認されている地域などではより注意して行動
- ・ 発熱等の症状がある場合は、自宅で休養
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」、接触確認アプリ「COCOA」の活用

2 施設・事業所における感染防止策の徹底

- ・ 業種別感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止策の徹底。利用者にも感染防止策への協力を依頼
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」の導入と「感染予防対策実施宣言書」の掲示
- ・ テレワーク・時差出勤の推進

3 外出について(当面令和3年5月5日まで)

- ・ 大阪市などまん延防止等重点措置実施区域をはじめとする感染拡大地域への不要不急の往来は極力控える。

4 イベント開催について(当面令和3年4月末まで)

(1) イベントを開催する場合は以下の目安で開催

<基本的な考え方>

必要な感染防止策が担保される場合には、収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度(両方の条件を満たす必要)とする。

時期	収容率の目安		人数上限の目安
当面令和3年4月末まで	大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの ・クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会等 ・飲食を伴うが発声はないもの ^(※1)	大声での歓声・声援等が想定されるもの ・ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント等	① 収容人数 10,000 人超 ⇒収容人数の 50% ②収容人数 10,000 人以下 ⇒5,000 人
	100%以内 〔席がない場合は適切な間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)〕	50%以内 ^(※2) 〔席がない場合は十分な間隔(1m)〕	

※1 「イベント中の食事を伴う催物」は、必要な感染防止策が担保され、イベント中の発声がない場合に限り、イベント中の食事を伴う場合についても、「大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの」と取り扱う。

※2 異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ(5人以内に限る。)内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

(2) 大規模イベントにおける感染防止策の事前相談

全国的な移動を伴うイベントや参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催を予定されている場合の滋賀県新型コロナ対策相談コールセンターへの相談

【滋賀県新型コロナ対策相談コールセンター】

- 電話番号:077-528-1344
- 開設時間:9:00~17:00(平日のみ)

感染リスクが高まる

「5つの場面」

① 飲酒を伴う懇親会

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



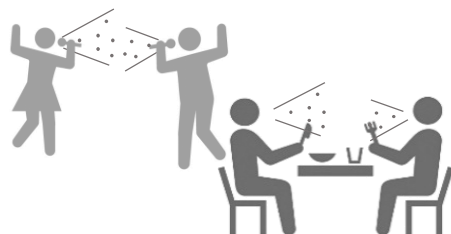
② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



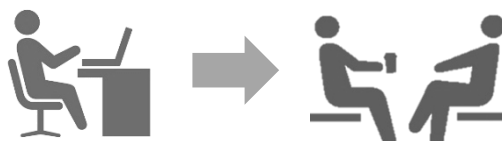
④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



⑤ 仕事から休憩室などへの居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



家族を守るために

家庭で気を付けていただきたい

4つのポイント **+1**

ポイント①

家庭に持ち込まない



- ✓ 会食する際には**感染予防**をし、**なるべく普段一緒にいる人と**
- ✓ 家族や普段一緒にいる人以外と会食する際は特に注意

ポイント②

家庭内で拡げない



普段接しない人とのマスクなしでの会話をした場合や、風邪などの症状がある場合は、

- ✓ 食事の**時間をずらす**
- ✓ 部屋を**分ける**
- ✓ 同室で過ごす場合は**マスクの着用**

ポイント③

車の中でも感染対策を



- ✓ **適度な換気**
(エアコンを外気導入にし、窓を開ける)
- ✓ **マスクを着用**

ポイント④

基本的な感染対策も十分に



- ✓ 帰宅時および**飲食前には手洗い**
- ✓ **咳エチケットの実践**
- ✓ **タオルの共有をしない**
- ✓ 部屋の定期的な**換気**
- ✓ こまめな**共有部分の消毒**

コロナに負けない健康づくりを



+1

- ✓ **栄養や休養**をしっかりとる
- ✓ **適度な運動**の実施
- ✓ **ストレス**をためない

職場内感染を防ぐ

4つのポイント

Point 1

出勤前後



- ✓ 体調に違和感がある場合は出勤を控える
- ✓ 会食する際には感染予防をし、なるべく普段一緒にいる人と
- ✓ 家族や普段一緒にいる人以外と会食する際は特に注意

Point 2

仕事中



- ✓ 体に不調を感じた時は早めに申告
- ✓ 職場内でも適宜、手洗い・消毒・換気
- ✓ 対面で会話をするときにはマスクの着用や仕切りの設置
- ✓ 車内でもマスクの着用と換気を

Point 3

休憩時



- ✓ 会話の際はマスク着用
- ✓ 休憩・更衣・食事の時間をずらす
- ✓ 休憩時や喫煙時など一息つく場面では特に注意

Point 4

新しい働き方の実践



- ✓ テレワーク勤務の活用
- ✓ ローテーション勤務の活用
- ✓ 時差出勤の活用
- ✓ 会議はオンラインで

感染リスクを 下げながら会食する

ポイント

～人とのつながりを大切に～

感染拡大を防ぎつつ、会食を楽しんでいただくためのポイントをまとめましたので、実践をお願いします。

会食前



- 『もしサポ滋賀』登録店舗など感染対策がとられているお店か
- 体調が悪い人は参加していないか
- 少人数であるか
(同居家族を除き、できるだけ1卓あたり4人以内に)

会食時



- 座席やテーブルの配置は十分な距離をとる
- 会話の時はマスクを着用
- 箸・マドラーなどを使い回しをしない
- グラス・盃の回し飲みはしない
- お酒は適度な量で大声を出さず、静かに
- 短時間にする
- 『もしサポ滋賀』のQRコードを読み取る
(『COCOA』の活用)



家族や普段一緒にいる人以外と会食する際は特に注意してください！

また、少人数であるほど、短時間であるほど感染リスクは下がります。いろいろな対策を組み合わせ、感染リスクを下げる工夫をお願いします。



店舗の感染対策 ポイント👉

入店時

- ❑ 手指消毒用のアルコールの設置
- ❑ 発熱・咳などの症状のあるお客様の利用制限
- ❑ 『もしサポ滋賀』のQRコードの読み取りをお願いします

QRコードをメニューに掲示したり、テーブルに貼るなど、読み込みやすい工夫をお願いします！



密接回避

- ❑ 席やテーブルは十分な距離をとる（最低1m以上）

食器

- ❑ 大皿での提供をさける
- ❑ 大皿で提供する場合は、取り箸や小皿をつける

飛沫防止

- ❑ 従業員のマスクの着用
- ❑ パーティションの設置

消毒

- ❑ 手が触れる部分はこまめに消毒

換気

- ❑ 常時機械換気
- ❑ 30分ごとに窓・ドアを開けて換気（常時換気できない場合）



換気はCO₂濃度1,000ppm超が目安です。

CO₂センサーを活用することで、換気のタイミングがわかります



CO₂センサー

